

2021. 12. 3

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

大学ではどんな研究をしているの？
大学院生が研究の面白さ・魅力を発信
【 BKC ライスボールセミナー 】 12月～1月のご案内
テーマは「製剤学」「画像処理」「鍼灸学」「人工知能」

立命館大学は、大学院生が自身の最新の研究成果を発表する「BKC ライスボールセミナー」をオンライン(Zoom ウェビナー)で開催しています。

本セミナーでは、10月から1月の期間、2021年度文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の採択により実施している「立命館大学 NEXT フェローシップ・プログラム」の博士後期課程学生が、最新の研究成果や研究の面白さをわかりやすく解説します。12月から1月にかけては、薬学研究科、情報理工学研究科、スポーツ健康科学研究科の大学院生が発表します。

本テーマにご関心がある方をはじめ、大学で展開する研究内容や研究の面白さ・魅力に興味をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

■ BKC ライスボールセミナー 2021年12月～2022年1月概要

| 日時 | テーマ | 発表者 | 専門 |
|--------------------------|-----------------------|-------------------------------------|------------------------|
| 12月7日(火) 12:20～12:45 | 薬をより効果的に 効かせる技術とは？ | 薬学研究科 博士課程後期課程1回生 植草 大河 | 製剤学 物理製剤学 |
| 12月14日(火) 12:20～12:45 | 百聞は一見に如かず ※英語発表 | 情報理工学研究科 博士課程後期課程1回生 Zhou Yutong | 画像処理 機械学習 |
| 12月21日(火) 12:20～12:45 | 鍼を使わない 「鍼治療」の開発 | スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程1回生 宮本 成生 | 鍼灸学 生体医工学 |
| 1月11日(火) 12:20～12:45 | ノイズに強い ロボットの学習 | 情報理工学研究科 博士課程後期課程1回生 前山 功伊 | 人工知能 機械学習 深層強化学習 |

会場：オンライン(Zoom ウェビナー)

内容：詳細は別紙参照

対象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

参加方法：申込不要。時間になりましたら下記に掲載の URL からご参加ください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=516773>

衣笠キャンパス、大塚いばらきキャンパスでは、下記のとおり開催しています。

衣笠：<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=510325>

○IC：<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=511727>

以上

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス ライスボールセミナー事務局

TEL.077-561-2802

別紙

■セミナー内容詳細

(1)「薬をより効果的に効かせる技術とは？」

「創薬」と聞くと、「薬の成分を発見する」という印象が強いのではないのでしょうか。しかし、患者さんが安全に服用できる形に加工する「製剤化」にも、多くの技術や知識が集約されています。

本セミナーでは、製剤の面白さをご説明します。

登壇者：薬学研究科 博士課程後期課程 1 回生 植草 大河

(2)「百聞は一見に如かず」 ※英語発表「A picture is worth a thousand words」

自然言語の文章から、画像が自動生成される技術を研究しています。本研究は、将来、テキストベースの台本に基づき、アニメーション映画の自動作成を実用化することにおいて、重要な布石となることが期待できます。今回は、本研究の課題および今後の見通しについてご紹介します。

登壇者：情報理工学研究科 博士課程後期課程 1 回生 Zhou Yutong

(3)「鍼を使わない「鍼治療」の開発」

鍼治療による生体反応を客観的に捉えることで、その機序と効果を考察してきました。本研究では、それらを発展させ、電気刺激によって鍼刺激と同様の生体反応を引き出すことを目的に、静電気刺激が最も鍼に近いという仮説を検証しています。

登壇者：スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程 1 回生 宮本 成生

(4)「ノイズに強いロボットの学習」

深層強化学習を実ロボットへと適用するためには、学習効率の向上が重要です。

本研究では、ロボットの姿勢情報を用いて、強化学習の状態表現を誘導し、提案手法をシミュレーション環境で検証しながら、より良い状態表現を獲得することで、学習効率の向上を図っています。

登壇者：情報理工学研究科 博士課程後期課程 1 回生 前山 功伊

■立命館大学 NEXT フェローシップ・プログラムについて

立命館大学では、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の採択を受け、2021 年度より、優秀で意欲の高い博士後期課程の学生を「立命館大学 NEXT フェローシップ・プログラム生」として採用しています。本プログラムは、プログラム生が、本学の研究拠点において、先端的で多様な分野の研究人財と協働しながら、研究活動に従事することで、自らの専門性を深めながら幅広い視点を獲得することを目指しています。また、研究支援のみならず、博士後期課程修了に向けたキャリア形成に対する支援も行っています。

WEB サイト： <http://www.ritsumeit.ac.jp/next-fs/>

■ライスボールセミナーについて

若手研究者や大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、お昼の時間に軽食をとりながら、フリーディスカッションを行うセミナー。2007 年に教職員間の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者の育成の取り組みの一環として開催しています。